

令和6年度 第4回 教育研究評議会 要録

日時 令和6年7月17日(水) 13時00分～15時02分
場所 遠隔会議：第一会議室，各事務室等
出席者 榊理事長，高田学長，榎本理事，中山副学長，柳沢副学長，久保副学長，吉田文学部長，
酒井理学部長，鈴木則子生活環境学部長，藤田工学部長，遊佐人間文化総合科学研究科長，
鈴木広光評議員，高岡評議員，鍵和田評議員，篠田評議員，岡本評議員，松本評議員，
黒子評議員，衣川評議員，宮林評議員
欠席者 山内副学長
列席者 三野監事，大久保監事，三谷監事，向総務課長，寺本企画課長，川村人事課長，幸田財務課長，
奥施設課長，岡田情報課長/学術情報課長，荒堀国際課長，植田研究協力課長，米谷学務課長，
角田学生生活課長，津寄入試課長，岩阪監査室長
議長 高田学長

議事に先立ち，前々回記録，前回記録を確認した。

I 審議事項

1. 120年史の編纂について

高田学長から，資料1により説明があり，審議の結果，奈良女子大学百二十年史編纂委員会要項を承認し，当委員会で詳細を検討していくこととなった。

2. 令和7年度学年暦(案)について

柳沢副学長から，資料2により説明があり，審議の結果，原案の通り承認した。

3. 学内組織の再編について

中山副学長から，資料3により説明があった後，柳沢副学長から，同資料により教育統括会議，全学教育推進部会について説明があり，審議の結果，高等教育研究・支援センターの名称とセンターの4部門の構成員の数について，原案のとおり承認した。高田学長から，7月24日に開催する全学説明会を経て，8月中に教育計画室で意見を集約し，9月の教育研究評議会で審議・決定したい旨発言があった。

酒井理学部長及び吉田文学部長から，全学説明会では，意見聴取のポイントなどを正確に示していただきたい旨，発言があった。

宮林評議員から，全学説明会では，大学として為すべきタスクをリストアップし，既存の組織で対応できている部分とできていない部分を区別して，それら全体を構想している組織でどのように対応を図るかが分かるように説明されたい旨，意見があった。

4. 令和7年度授業計画における非常勤講師の配置に関する指針及び令和7年度授業計画における非常勤講師の配置に関する人事計画の指針について

高田学長から，資料4-1～4-2により説明があり，審議の結果，原案の通り承認した。変更点としては，非常勤講師の配置数を削減する方向で検討していくことと，削減の数値目標を設定しないとの記載を削除することとした。

5. 諸規程等の制定等について

(1) 奈良女子大学ウエスタンデジタル奨学金取扱規程の制定について

柳沢副学長から，資料5により説明があり，審議の結果，原案の通り承認した。

(2) 奈良女子大学次世代研究者育成プログラム SGC-NEXUS 取扱要項の制定について

(3) 奈良女子大学次世代研究者育成プログラム SGC-NEXUS メンターチーム規則の制定について

(4) 奈良女子大学次世代研究者育成プログラム SGC-NEXUS 運営委員会規則の制定について

(5) SGC 及び SGC+規程の廃止について

高田学長から、資料6～9により説明があり、審議の結果、原案の通り承認した。

6. 地域中核研究大学等強化促進基金助成金について

久保副学長から、資料10により、お茶の水女子大学の申請の参画機関として協力することについて説明があり、種々意見交換の結果、原案の通り承認した。

遊佐人間文化総合科学研究科長から、参画機関ではなく、本学として、地域中核研究大学等強化促進基金助成金への申請を来年度以降検討していく必要がある旨、発言があった。

衣川評議員から、参画機関として関与することで、本学にどの程度ベネフィットがあるのか、経費・資金が本学に入らないのであればベネフィットがないので、協力するのはやめればどうかという、発言があった。

酒井理学部長及び藤田工学部長から、本学の女子教育の理念の実現に役立つのであれば、参画機関として協力することは意味がある旨、発言があった。

7. その他

特になし

II 報告事項

1. 令和6年度 第2回経営協議会報告について

高田学長から、資料1により報告があった。

2. 理事長の業務執行状況の確認結果について

榎本理事から、資料2により報告があった。

榎理事長から、先生方のおかげで、教育の質を高めていくための取組や分野を横断した学問祭のような取組も少しずつ進んでおり、奈良カレッジズにおいても、産業界も含めた地域との協力関係を深めていくことができている、今後は、学内の先生方とコミュニケーションの頻度を更に高めていきたいので、ご協力をお願いしたいとの発言があった。

3. 運営費交付金「ミッション実現戦略分」について

榎本理事から、資料3により報告があった。

高田学長から、5つのプロジェクトに限らず、他にもあれば提案いただきたい旨の依頼があった。

4. 奈良女子大学奈良ゾンタクラブ理系若手女性研究者奨励賞規程の一部改正について

久保副学長から、資料4により報告があった。

5. 奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科規程及び奈良女子大学「奈良で学ぶ文化財学」に係る履修証明プログラム規程の一部改正について

遊佐人間文化総合科学研究科長から、資料5により報告があった。

6. 今後の法人の財政シミュレーションについて

榎本理事から、資料6により報告があった。

7. その他

榎本理事から、オープンアクセス加速化事業が採択された旨、報告があった。

最後に、8月末で退任する三野監事、三谷監事から挨拶があった。

次回、教育研究評議会を令和6年9月18日（水）13時00分から開催することとして散会